

会報第37号



ふれあいネットワーク

# 八雲町社協だより

ともに支えあう、安心・安全・福祉のまちづくりを目指して

## デイサービスセンターふれあいコンサート



懐かしい歌を  
長江さん  
ありがとうございました。



# 平成27年度 八雲町社協事業計画

## 基本目標

八雲町社会福祉協議会は、「ともに支えあう、安心・安全・福祉のまちづくり」を組織理念に掲げ、地域住民・行政・町内会・福祉施設・福祉団体・ボランティア等との密接な連携と協働のもと地域福祉向上に取り組んでまいりました。

しかし、少子高齢化や住民生活の多様化さらには人口減少を背景に、様々な生活課題が引き続き顕在化しており、また、本年4月の介護保険法改正をはじめ、社会福祉の各分野において諸改革が進み、地域住民を取り巻く環境は大きく変化してきております。

こうした中、誰もが安心して暮らし続けることのできる地域社会を実現していくためには、住民相互の繋がり的高めあいとともに生活課題を受け止めていく体制づくりと地域福祉活動が一層求められてきています。

そのため、目的を共有するすべての個人・団体と協力・協働しながら、平成25年3月策定した「新2期地域福祉実践計画」の着実な推進と、次に掲げる10項目の重点推進事業の展開に役職員一丸となって取り組んでまいります。

町からの受託事業を含め、社協の中心となっている在宅福祉サービス事業の実施にあたっては、事業効果が最大限発揮できるよう引き続き適正な遂行に努めてまいります。

八雲町社協は、デイサービス・居宅介護支援・訪問介護（熊石地域）の3つの介護保険事業所を開設していますが、3年に1回見直される介護報酬は、本年4月から基本報酬平均で4.48%の減額ですが、デイサービスは平均を上回る9%の減額となり、本年度の介護保険事業は厳しい環境の中での経営とならざるを得ません。

社協が介護サービス事業を実施していることにより、介護やケアマネジメントの専門性が蓄積され、個別の相談に対し総合的かつ即応的に対応することができます。

そのため、こうした役割をしっかりと果たすためにも、各事業所の事業計画のとおり、引き続き利用者確保の一層の強化と社協らしい事業展開を図りながら安定的、継続的な事業経営に努めてまいります。

## 重点推進事項

### (1)地域福祉実践計画の推進

5年計画の中間年を向かえた新2期地域福祉実践計画については、地域福祉実践計画推進委員会において、必要に応じ事業の進行管理や評価・見直しを行ってまいります。また、関係団体等との協議や相互協力を図り、新規事業をはじめとする計画事業の着実な実施に取り組んでまいります。

### (2)地域福祉活動の推進

地域福祉活動は「みんなで支えあう」を理念とし、社協活動との協働を促進するため、地域住民やあらゆる団体・組織と連携した住民福祉活動を推進し、様々な課題解決のための取り組みを行ってまいります。

隔年実施の福祉懇談会は本年度第5回目となります。地域福祉活動の意義や役割そして推進する方法等について関係者と一緒に関与し共有すべく、内容充実に努め開催してまいります。

ふれあい広場の開催や乳酸飲料配布などの高齢者見守り事業の実施、さらには町内会等の自主的な福祉活動への協力支援についても引き続き取り組んでまいります。



### (3)ボランティアセンターの運営とボランティア団体との連携

地域福祉を推進していくためには、何と言ってもボランティアの協力が重要であります。そのため、ボランティアスクールや青少年福祉活動体験事業の開催、ボランティア愛ランド北海道への参加などを通じ、ボランティア活動の推進と育成を目指してまいります。

また、各ボランティア団体の活動紹介や支援にも引き続き取り組んでまいります。

ボランティアセンター（愛情銀行）事業は、主に町の補助金と町民の寄付金をもとにボランティア団体への運営助成やボランティア育成事業を行っています。このうち寄付金は減少傾向が続いていることから、より善意が広がる工夫と状況によっては事業の見直しを図ってまいります。

### (4)生活困窮者自立支援活動の実施

経済的困窮や社会的孤立の状況にある生活困窮者に対し、内容によっては昨年設置された「自立支援相談センターおしま」と連携し自立支援相談を行ってまいります。

また、低所得者や経済的な生活課題を抱える世帯に対し、生活一時金（社協単独）、生活福祉資金（北海道社協事業）の貸付と相談支援を行い、経済的自立及び生活意欲の助長促進等を図ってまいります。

**(5)在宅福祉活動の推進**

町からの受託事業を中心に実施している、給食（八雲）、移送（八雲・熊石）、高齢者訪問（熊石）サービスなどの在宅福祉サービス事業については、利用者がより良い生活が送られるよう、サービスの質の向上に一層努めてまいります。町民の善意により寄贈された車椅子やベットの有効活用を行っている福祉用具無料貸付事業についても引き続き実施してまいります。

**(6)相談・権利擁護事業**

心配ごと相談の多くは経済的要因が大部分であり、行政や関係者と連携を図りながら相談援助活動に努めてまいります。

また、各種事業や活動を通じ住民の悩みに速やかに相談にのり適切な助言支援等を合わせて行ってまいります。



北海道社協からの受託事業であります、判断能力が十分でない方の金銭管理等を支援する日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）は、利用要望が今後増えてくることが予想されることから、生活支援員の確保等実施体制に万全を期してまいります。

**(7)介護保険事業所の健全経営**

昨年8月から9月に実施した利用者満足度アンケートで、いずれも高い評価を受けたデイサービス・居宅介護支援・訪問介護の各介護保険事業所の運営にあたっては、これからも利用者の声をしっかり受け止め、親切で丁寧な介護サービス提供に努めてまいります。

本年4月からの介護報酬は、基本方針でも述べたように大幅な減額となり、各事業所において収入不足の予算とならざるを得ませんでした。そのため、各サービス毎の報酬基準表の内容を精査するとともに、改定による今後の影響をシミュレーションし、引き続き安定的に事業運営ができるよう努力してまいります。

また、各種助成団体への助成要望が認められた時は、備品購入積立金を活用しデイサービスセンター利用者送迎用車両の更新を図ってまいります。

**(8)財源の確保と財政の確立**

八雲町社協は、町からの運営補助金・在宅福祉サービス等の委託金、介護保険事業にともなう介護報酬、町民等からの愛情銀行への寄付金、そして、住民の理解と協力を得た自主財源であります個人会費・賛助会費・特別会費及び共同募金助成金など多様な公的財源により運営されています。

会費などの自主財源は、人口減少や長引く経済不況により年々厳しい状況にあります。今後一層役職員一丸となって財源確保に努めてまいります。

**①会費納入について**

自主財源の中で、大きなウエートを占める会費については、引き続き住民や町内会等の理解を得ながら個人会費の納入と賛助会員・特別会員の加入促進に向けて努力してまいります。

**②共同募金運動への協力**

住民の善意と助け合いの精神により、地域福祉推進の取り組みを財源面で支える赤い羽根共同募金は、社協が行っている各種福祉団体助成金の原資であり重要な自主財源となっています。

そのため、八雲町共同募金委員会が展開する募金活動に対し、積極的に参加し支援協力してまいります。

**③基金・積立金について**

社協には、資本金となる基本財産のほか、福祉基金・財政調整基金・人件費積立金・備品購入積立金・退職給付引当金があり、その管理には八雲町社協資金管理方針等に基づき万全を期してまいります。

また、資金状況に応じた積み立てと目的に沿った有効活用を図ってまいります。

**(9)社協組織運営の充実****①啓発・広報活動**

「社協だより」「支所だより」を年4回発行し、各種事業や行事の周知を図り社協活動の啓発に努めてまいります。

また、ホームページを活用した広報活動も行ってまいります。

**②組織運営の充実強化**

評議員会・理事会の開催を通して、法人運営や事業推進の方向性を決定するとともに、監査の実施により法人運営の適正化を図って行きます。

また、必要に応じ各委員会及び正副会長会議を開催し個別対応を図ります。さらには、研修会への参加や関係団体との交流等を通じ情報収集に努め、地域福祉を推進する団体としての役割・機能を発揮し、地域に理解と信頼を得られる社協づくりに努力してまいります。

職員研修会を年2回開催するなどして、職員の資質向上と専門性の確保にも努めてまいります。

**③地域間交流の促進**

昨年、八雲町で第1回を開催した渡島噴火湾社会福祉協議会（鹿部町・森町・八雲町・長万部町）連絡会議に積極的に参加し、近隣社協との連携・交流を一層推進してまいります。

また、八雲・熊石両地域の交流についても、引き続き各種行事・事業等の相互参加等を図りながら、交流促進がさらに深まっていくよう努めてまいります。

**(10)町からの受託事業の実施**

町からの受託事業は次のとおりとなっています。

- ①八雲町総合保健福祉施設シルバープラザ管理業務
- ②寝たきり高齢者等移送サービス事業（八雲・熊石地域）
- ③高齢者等給食サービス支援事業（八雲地域）
- ④緊急通報体制整備事業（八雲・熊石地域）
- ⑤生きがいデイサービス運営事業（八雲地域）
- ⑥要介護認定訪問調査業務（八雲地域）
- ⑦介護予防サービス計画作成業務（八雲地域）
- ⑧高齢者生活指導員派遣事業（熊石地域）
- ⑨独り暮らし高齢者訪問事業（熊石地域）

## 平成27年度八雲町社会福祉協議会収支予算

## 〔本所拠点区分〕

(単位:千円)

○法人本部運営事業	48,432	○通所介護事業	39,358
○共同募金助成金事業(本所)	1,650	○居宅介護支援事業	11,057
○在宅福祉事業(本所移送・給食)	6,287	○ボランティアセンター(愛情銀行)事業	1,118
○緊急通報システム事業	2,029	○生活一時金貸付事業	1,500
○ふれあい広場事業	1,333	○生活福祉資金貸付事業	177

(収入)

(支出)

(単位:千円)

科 目	予 算 額	科 目	予 算 額
会 費 収 入	3,553	人 件 費	80,304
町 補 助 金 収 入	29,225	事 業 費	12,645
町 受 託 金 収 入	23,159	事 務 費	6,609
道 社 協 受 託 金 収 入	357	助 成 金 支 出	475
共 同 募 金 助 成 金 収 入	1,650	共 同 募 金 助 成 金	1,650
介 護 保 険 収 入	40,431	貸 付 事 業 支 出	1,500
寄 附 金 収 入	400	施 設 整 備 支 出	4,712
受 取 利 息 配 当 金 収 入	16	積 立 資 産 支 出	1,055
雑 収 入	33	サ ー ビ ス 区 分 間 繰 入 金 支 出	3,765
償 還 金 収 入	1,500	予 備 費	226
施 設 整 備 補 助 金	2,430		
積 立 預 金 取 崩 収 入	4,694		
拠 点 区 分 間 繰 入 金 収 入	120		
サ ー ビ ス 区 分 間 繰 入 金 収 入	4,190		
前 期 末 支 払 資 金 残 高	1,183		
本 所 拠 点 区 分 収 入 予 算 合 計	112,941	本 所 拠 点 区 分 支 出 予 算 合 計	112,941

## 〔支所拠点区分〕

(単位:千円)

○共同募金助成金事業(支所)	435	○訪問介護事業	11,462
○在宅福祉事業(支所移送)	1,639	○小口資金貸付事業	751

(収入)

(支出)

(単位:千円)

科 目	予 算 額	科 目	予 算 額
町 受 託 金 収 入	2,368	人 件 費	10,886
共 同 募 金 助 成 金 収 入	435	事 業 費	2,046
介 護 保 険 収 入	8,953	事 務 費	70
自 立 支 援 費 等 収 入	215	貸 付 事 業 支 出	750
受 取 利 息 配 当 金 収 入	2	共 同 募 金 助 成 金	435
雑 収 入	1	予 備 費	100
償 還 金 収 入	750		
残 期 末 支 払 資 金 残 高	1,563		
支 所 拠 点 区 分 収 支 予 算 合 計	14,287	支 所 拠 点 区 分 支 出 予 算 合 計	14,287

収 入 予 算 総 合 計	127,228	支 出 予 算 総 合 計	127,228
---------------	---------	---------------	---------

## 第24回 熊石高齢者ふれあい演芸会

高齢者ふれあい演芸会は、今年で24回目を迎え開催いたしました。

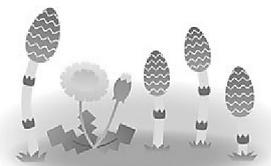
今回は、1月15日にオープンした「ふれあい交流センターくまいし館」で記念すべき演芸会となりました。



熊石地域の高齢者と八雲老連合わせて250人が参加し、出演してくれた保育園児やボランティアなど総勢300人程が会場に集まりました。

新しい会場でのカラオケ、放送設備、照明は？……と出演者もスタッフも準備から期待と不安で当日をむかえました。

オープニングは、例年どおり保育園児のかわいらしい踊りでスタートしました。



そして、いよいよ演芸会・・・いつも以上に気合いが入っているカラオケ、いつも以上にお化粧や衣装に力が入っている踊りやコント。

楽しい時間は「あっ！」という間に過ぎてしまいました。また来年も元気で皆さんにお会いできることを楽しみにしています。

## 中・高生の冬休み体験ボランティア事業

熊石地域の中学生・高校生を対象とした冬休み体験ボランティア事業を1月7日～8日の2日間実施しました。

生徒さんは、ホームヘルパーとのふれあい訪問やくまいし荘や熊石デイサービスセンターでお年寄りの方とお話しをしたり介護のお手伝いをしました。

また、保育園では遊びをとおして園児と楽しく交流をしました。

2日間で5ヶ所の福祉現場でボランティア体験をしていただいた中学生・高校生は25名でした。

本当にご苦労さまでした。



# 平成26年度ボランティアスクール

No.8

ボラ通



平成27年3月7日(土)シルバープラザにてボランティアスクールを開催いたしました。

毎年、ボランティアの意義を再確認するとともに、ネットワークづくりや知識・資質の向上を図ることを目的に開催しています。今回は

ここ最近では最も多い、約80名の方が参加してくれました。

今年度、午前の講師として災害救援ネットワーク北海道代表の山口幸雄氏に来ていただきました。“やんじー”の愛称で親しまれる山口さんは、北海道だけではなく、全国の災害救援を行っています。

『地域力をどういかしていくか』をテーマに、実際に現地で行っている活動や感じたこととお話ししていただきました。

災害時には現地に行き、何干食もの炊き出しを行ったりしています。八雲は、比較的自然災害が少ないところではありますが、自然災害はいつあってもおかしくありません。日頃より備えること、今回テレビでは放送されていない、東日本大震災での津波の状況をDVDなどを交えながら、講演していただいたことで、日頃から考えることの大切さ、まずは逃げることの大切さみんなのつながり、協力などを教えていただきました。

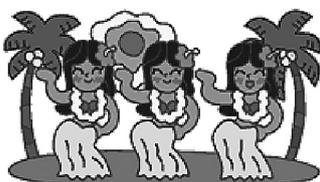
講演会には奥様もいらして、水が大切なため体などを洗うことができない環境でのウェットティッシュの重要性やお手洗いのことなど、災害時の女性視点から気になる貴重なお話しをしていただきました。



午後からの講師には、函館を拠点に活動している、フラダンス講師の川上ミチノ氏に来ていただきました。

八雲で現在活動しているフラサークルの講師でもある

川上さん。今回は『美と健康のフラダンス』というテーマで講習していただきました。美しくなれ、さらに健康にもなれるとなれば、女性の参加者としては気になるところ。花の首飾り“レイ”を川上さんが参加者用に持ってきてくれ、音楽がかかると雰囲気はもう常夏！3月とは思えない雰囲気でした。フラダンスの動きも教えていただきながら、笑顔で大きな声で笑ったりと“美と健康”で最後まで明るく楽しく講習をしていただきました。



## 会費納入全戸加入のお願い!

当社協は、町民皆様のお力添えに支えられながら、地域福祉、在宅福祉そして介護保険事業所の運営を推し進めております。

社協の運営財源は、町民皆様から収めていただく会費、町補助金、受託事業の受託金、赤い羽根共同募金の配分金、そしてボランティアセンター(愛情銀行)によせられた寄付金(浄財)、介護報酬等により賄われています。

主な使い道は、職員の人件費、介護保険事業、毎年開催するふれあい広場事業(敬老会)、在宅福祉事業(移送サービス事業、給食宅配事業、緊急通報システム設置事業等)、会報(社協だより)発行事業、各種福祉団体、青少年団体への助成事業等に使用しております。

お願いする会費は次のとおりです。

### ◎一般会費 五〇〇円

本年度もご理解、ご協力を賜りますとともに、全戸加入下さるようご協力をお願いいたします

### ◎賛助会費 一口三〇〇〇円

後日、社協役職員がお伺いいたしますので、社協の地域福祉事業にご理解いただき、一口以上のご配慮下さるようお願いいたします。



## 生活困窮者の支援制度が平成27年4月から始まりました

渡島管内(松前町、福島町、知内町、木古内町、七飯町、鹿部町、森町、八雲町、長万部町)にお住いで、「働きたくても働けない」「住むところがない」「社会に出るのが不安」「家賃や光熱水費の支払いに困っている」などの、生活上(暮らしや仕事など)の悩みや経済的な困りごとや、今後の生活に不安を感じている方の相談をお受けします。ひとりで悩まず、お気軽に相談ください。

ご家族や地域の方からの相談も受け付けていますので、困っている方やご心配の方がいたら、お知らせください。

### 北海道社会福祉協議会・自立相談支援センターおしま 『おしまHOT(ほっと)かないセンター』

〒041-1111

七飯町本町5丁目1番6号 アトラスビル1階

電話: 0138-64-6280 FAX: 0138-64-6281

メール: hot-oshima@dosyakyo.or.jp

相談受付: 午前9時~午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

おしまHOT(ほっと)かないセンターは

あなたのことを…HOT(ほっと)かない

そうして、わたしのことを…HOT(ほっと)かないで

そんな、あなたのための

HOT(ほっと)できる場

HOT(暖かい・ぬくもりのある) できる関わりを  
目指したセンターです。



センターイメージキャラクター  
『ほっとちゃん』

# 皆さんの温かい善意のご寄付ありがとうございました

## ボランティアセンター（愛情銀行）

平成26年12月16日～平成27年4月15日（順不同・敬称略）

- 一般寄付**
- 松の会舞踊サークル 10,000円
  - はまなすクラブ（平成22年度より継続） 5,590円
  - すみれダンスサークル 20,000円

- 物資寄付**
- 南北海道ヤクルト販売株式会社 プロジェクター・スクリーン
  - 匿名 雑巾50枚
  - 匿名 雑巾52枚



## 社協活動メモ

### 十二月

- ・平成二十六年第一回渡島地区ボランティア連絡協議会正副会長会議 渡島合同庁舎
- ・平成二十六年渡島地区ボランティア連絡協議会役員会及び第二回渡島地区ボランティア推進会議 渡島合同庁舎
- ・介護保険施設等集団指導 函館市
- ・仕事納め式（十二月二十九日）

### 一月

- ・仕事初め式（一月五日）
- ・八雲町身体障害者福祉協会新年会
- ・八雲ボランティア新年親睦会
- ・第3四半期定期監査
- ・すみれダンスサークルチャリティーダンスパーティー
- ・八雲民謡会新年親睦会
- ・第五回理事會
- ・かつら共同作業所・手をつなぐ育成会合同新年会
- ・野田生中央町内会定期総会・新年会
- ・第三回八雲町共同募金委員会理事會
- ・熊石中・高生冬休み体験ボランティア

### 二月

- ・第三回八雲町介護保険事業運営委員会 函館市
- ・平成二十六年第二回渡島社協職員連絡協議会研修会
- ・落部婦人ボランティア新年会
- ・東野老人クラブ福寿会新年度総会
- ・第二回正副会長会議
- ・第三回八雲町総合開発委員会
- ・平成二十六年北海道社協職員連絡協議会第二回正副会長・ブロック代表幹事合同会議 札幌市
- ・第二十四回熊石高齢者ふれあい演芸会
- ・熊石関内町内会安心安全ふれあいサロンの会

### 三月

- ・ボランティアスクール
- ・防犯パトロール浜茄子隊総会

- ・第六回理事會
- ・平成二十六年第三回管内社協会長・事務局長会議並びに第二回渡島管内社協連絡協議会役員会
- ・第二回評議員会
- ・平成二十七年介護報酬改定等に係る説明会
- ・熊石身体障害者福祉協会「初春の集い」
- ・退職辞令交付式
- ・七飯町

### 四月

- ・辞令交付式並びに年度初め式
- ・立岩羽衣会総会
- ・八雲ボランティア総会

## 社協職員の動き

この度、次のとおり異動がありましたのでお知らせいたします。

※平成27年3月31日付退職者  
秋松 等（事務局長）

※平成27年4月1日付採用  
事務局長 梶原雄次

兩名の今後の活躍を期待し、後任職員には前任者同様ご支援くださいますようお願い申し上げます。



会報第三十七号 ◎八雲町社協だより◎

平成二十七年五月一日発行  
二海郡八雲町栄町十三一  
社会福祉法人 八雲町社会福祉協議会

☎ 0137-64-2112  
FAX 0137-63-2160